

本設計の設計積算の条件は以下のとおりとする。

- ・工種区分 : 道路維持工事
- ・単価適用日 : 令和 8 年 4 月 20 日
- ・諸経費率 : 令和 8 年 4 月 1 日時点の令和 7 年度（令和 7 年 10 月 20 日以降適用）の積算基準に基づく諸経費率を適用

# 除草単価契約特記仕様書

1. 現地調査の上、必要箇所をピックアップすること。
2. 必要箇所の起終点・中間の写真を撮影し、作業前に提出すること。またその際に、延長・刈幅を 1/5,000 か 1/10,000 に記入し提出すること。また数量計算表も合わせて提出すること。
3. 資料では、除草のみ箇所と除草＋集草＋運搬箇所を分けること。
4. 基本的には除草のみ（刈りっ放し）とする。ただし、現地に放置できない場合は集草処理を行う。
5. 竣工書類
  - ・着手前・竣工写真
  - ・刈り幅確認写真
  - ・交通誘導員写真（黒板に日付を入れて、見積りの人数が確認できる写真を提出すること）
  - ・作業中写真（1～2枚程度）
  - ・出来高図面（当初に対して赤書き）



# 除草委託における除草基準及び注意点について

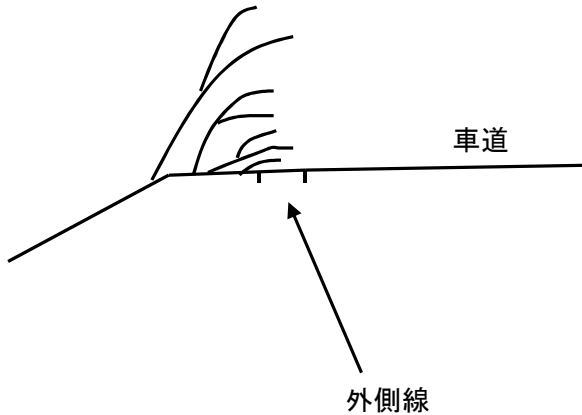
新潟県与板維持管理事務所

## (1) 除草基準について

新潟県管理道路において、除草が必要な箇所とは、道路交通の安全確保のために、路肩の草木が支障になっている箇所です。

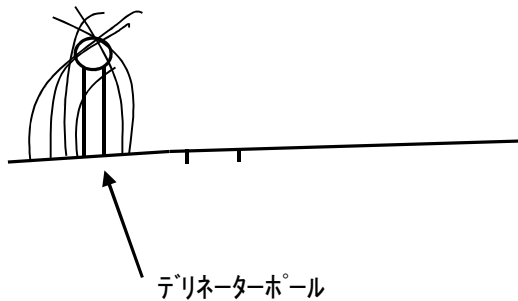
### 1. 路肩の草木が外側線付近まで生い茂っている箇所

↓ 路肩の草が外側線にまで及んでおり、通行に危険



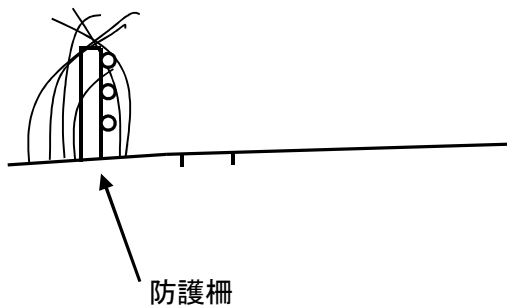
### 2. テリネーターポール(視線誘導標)が見えなくなっている箇所

↓ テリネーターポールが隠れてしまい、路肩が不明瞭



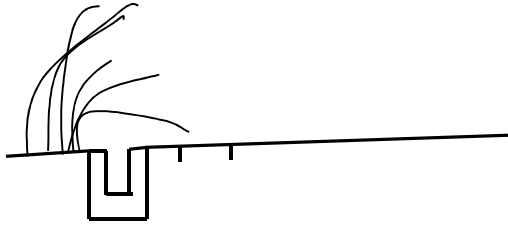
### 3. 防護柵が隠れてしまっている箇所

↓ 防護柵が完全に隠れてしまい、防護柵が不明瞭



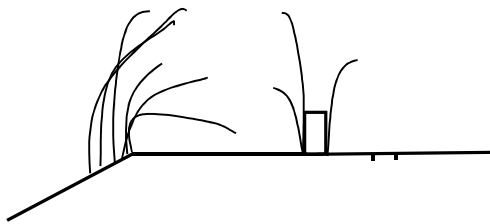
#### 4. 蓋無しの側溝が完全に隠れてしまっている箇所

↓ 側溝が完全に隠れてしまい、転落の危険



#### 5. 歩道の通行の支障となっている箇所

↓ 路肩の草木により歩行者通行の支障



#### 6. 交通時の視距が支障となっている箇所

※ 道路管理のための除草は、あくまでも**通行の危険を防ぐためのものです。**

**美観のための除草は必要ありません！**

(丈の短い場所や広い路肩で通行に支障のない箇所は除草不要です)

## (2) 注意点について

1. 監督員と打合せの上で、作業範囲を決定。その後見積もりを提出し、指示を受けた後に施工を行うこと。
2. 竣工書類は、作業箇所図・写真・マニフェスト(草木を処分した場合)・見積り・完了届・請求書とする。
3. 提出写真の内容については以下のとおりとする。

##### ・着手前と完了

- ※1 同じアングルで撮影すること。起終点及び延長を朱書きで記載すること。
- ※2 完了写真は施工後速やかに撮影すること。
- ※3 着手前と完了の差異がわかる写真を提出すること。

##### ・作業中写真

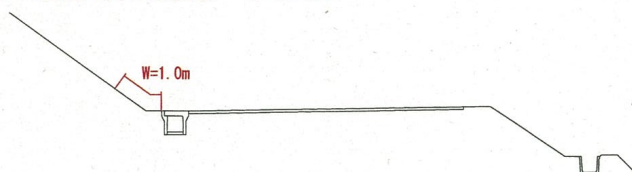
- ※1 各工種について1～2枚程度提出すること。
- ※2 交通誘導員を計上する場合は、誘導員の人数が見積りと対比できるように写真を撮影すること。  
黒板に作業日を入れて、撮影するのが望ましい。

##### ・計測写真

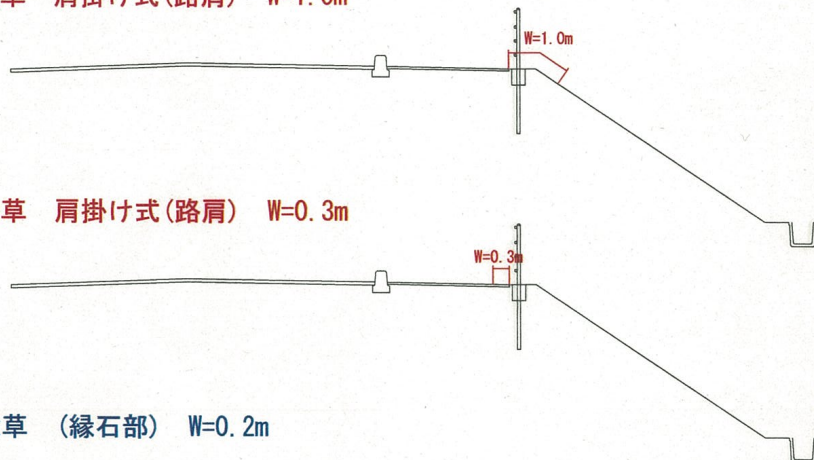
- ※1 各路線代表1～2箇所程度提出すること。

## 除草幅について(例示)

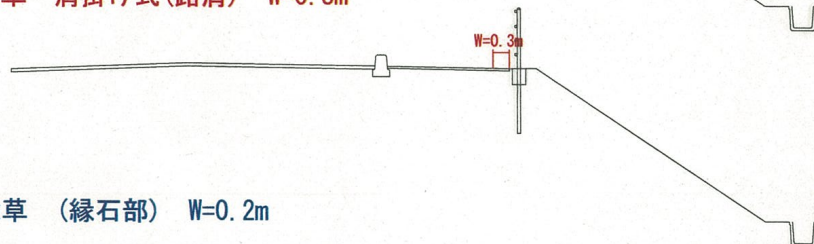
機械除草 肩掛け式(路肩)  $W=1.0m$



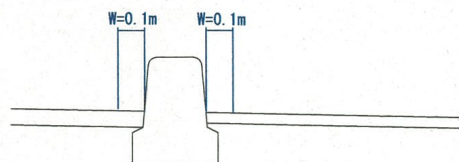
機械除草 肩掛け式(路肩)  $W=1.0m$



機械除草 肩掛け式(路肩)  $W=0.3m$

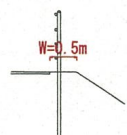
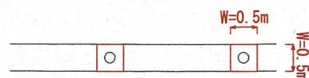


人力除草 (縁石部)  $W=0.2m$



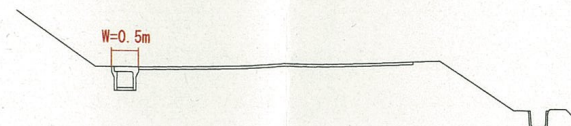
人力除草  $A=0.25m^2$   $0.5m \times 0.5m=0.25m^2$

転落防護柵  
ガードケール  
ガードレール  
支柱まわり

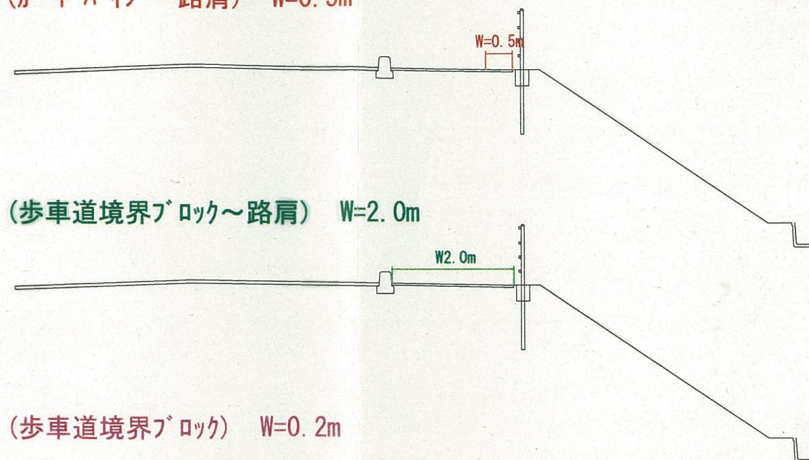


## 集草幅について(例示)

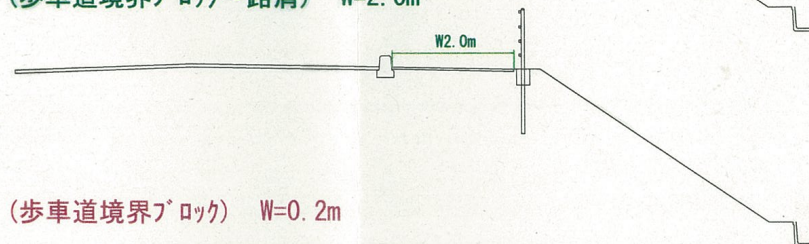
集草 (外側線～路肩)  $W=0.5m$



集草 (ガードパイプ～路肩)  $W=0.5m$



集草 (歩車道境界ブロック～路肩)  $W=2.0m$



集草 (歩車道境界ブロック)  $W=0.2m$

